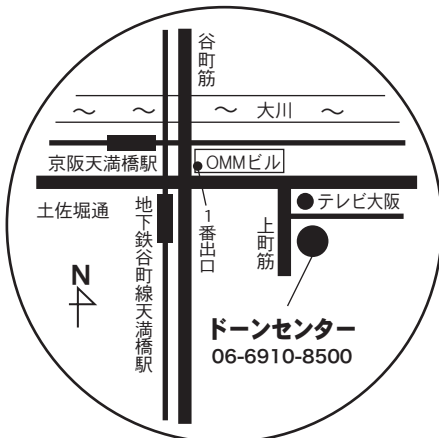


# AV 出演強要の実態と その支援

**国**際人権 NPO ヒューマンライツ・ナウが今年 3 月に発表した「強要されるアダルトビデオ撮影 ポルノ・アダルトビデオ産業が生み出す、女性・少女に対する人権侵害」報告書によって、若い女性たちが、巧妙なだましの手口でアダルトビデオ (AV) に出演を強要されている実態が明らかになりました。これをきっかけに、体験を語る被害者も現れ始めました。同時に業界内をはじめ、さまざまな反応も目にするようになり、AV を巡って何が起きているのかが、やっと「目に見える」ものとなりつつあると感じます。AV は、その制作過程に暴力、性暴力が明らかに含まれている場合でも、「女優は自由意志で契約し出演している」「演技だから問題ない」と言われ、被害がほとんど無視されてきました。この問題に早くから取り組み、出演強要被害の裁判支援なども行ってきたポルノ被害と性暴力を考える会のメンバー、金尻カズナさんを迎えて、出演強要の手口や AV 制作現場の実態、被害者支援の具体的な方法などをお聞きます。



- 日時 2016年 11月 22日 (火)  
18時30分～21時
- 場所 ドーンセンター・4F 中会議室 1  
(大阪府男女共同参画・青少年センター)
- 講師 金尻カズナ さん  
(ポルノ被害と性暴力を考える会)
- 会費 1000円  
\*維持会員の方は無料です。

参加は  
女性のみ

お問い合わせ

性暴力を許さない女の会

大阪市東淀川郵便局私書箱15号

TEL 06-6322-2313 (毎週火曜日 夜7~9時のみ)